□三好弘一: **オアシス**　東京の＜大＞自然　81pp. 1995. 小学館. ¥19,000.

小石川植物園の四季に渡る植物の様子を撮った写真集である. 1991年から1995年まで散策の折りに触れた情景を撮影している. 夏以後になると雑草に覆われて見る影もなくなる植物園であるが, よくよく眺めればこんなにも美しい自然の姿が存在するのだと驚かされる見事な写真集である. 自然が織りなす美しい情景は心をなごませてくれる. 撮影の場所がたまたま小石川植物園が選ばれただけであって, このような情景は全国どこでも見いだせるものである. 著者は癌から奇跡的に回復して命の尊さに目が開き, この写真を撮りはじめたという. 普段実用的な写真しか撮っていないものにとって, 草や木の営みを通して自然をすなおに見つめることの大切さを教えてくれる.

（山崎　敬）

□Phillips R. and Rix M. : **The quest for the rose** 265 pp. 1993. BBC Books, London. £18.99.

バラの愛好者が多いヨーロッパで一昨年, 話題になったＴＶ番組があった. この本の著者でもある2人が, 中国などのバラの野生地, クレタなどバラにゆかりのある地を尋ねる旅をしたり, ジョセフィーヌ時代のマルメゾン宮のバラ園を再現するなど, バラの愛好者や一般人からも好評であった. 本書は取材中に得た資料や写真, ＴＶでも放映された写真や図を多数採録した, 一種の「バラ百科」である. その解説は斬新で興味深い. この本の価格は日本円で3200円程度である. 英語圏に広い読者を期待しての発行部数を見込んでの価格であろうが, 同類の日本の図書の高値が考えさせられる. バラについての入門書として多くの方に推薦したい.

（大場秀章）